

# 教養論叢

No. 139 2018

---

---

## 朝吹亮二先生退職記念特集号

---

---



●序 ●奥田暁代◆i

### 論 説

- ルカによる福音書15章における三つの譬えについて—— Luther 訳聖書と現代ドイツ語訳聖書に基いて—— (3) ●角谷善朗◆1
- 学びの場の風景：幕末維新期の日本人の見た西洋社会と教育 (3) ——明治初期の初等教育における世界地理教育と福澤諭吉『世界国尽』——  
●太田昭子◆25
- 「抽離」の美術——フェノロサの美術館批判をめぐって—— ●鵜崎明彦◆51
- 天使と幽霊——ポール・クローデル『女と影』を巡って—— ●大出 敦◆292(1)
- 停滞と雌伏の中国三峡ダム計画 ●林 秀光◆256(37)
- A Discourse Analysis on New North Korean Documents *Kulloja* ●ISOZAKI, Atsuhito ◆79

### 研究ノート

- 脳とイマージュ——朝吹亮二『アンドレ・ブルトンの詩的世界』に基づくシュルレアリスムの詩作と脳の機構に関する一考察—— ●坪川達也◆91

### 翻 訳

- D・H・ロレンス『恋する女たち』「プロローグ」章 ●武藤浩史◆226(67)
- 「言葉」をめぐる2作品—— Joe Meno, *Demons in the Spring* より——  
●横山千晶◆103
- アラン・ジュフロワの 最後の／最初の 言葉 ●笠井裕之◆200(93)
- 終焉と王国—— *L'agonie et le royaume* —— ●アンリ, ナタリー◆131

### エッセイ

- 左縦書きと日本語の表記 ●小屋逸樹◆171
  - 私の略歴 ●朝吹亮二◆181
- 
-